SONY

3-860-391-01 (1)

トリニトロン®カラーテレビ

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書は、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

目次

KV-25ST32

BSチューナー内蔵

万一、異常が起きたら

- 煙が出たら
- 変なにおいや音がしたら
- 内部に異物が入ったら
- 音は出るが画面が映らないときは
- テレビを落としたり、キャビネットを破損したときは

➡

❶ 電源を切る

❷ 電源プラグをコンセントから抜く

❸ お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

ソニー株式会社　〒141 東京都品川区北品川6-7-35

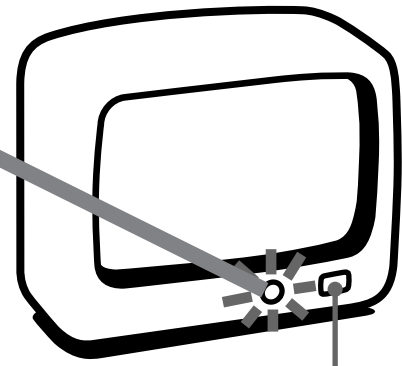
お問い合わせはお客様ご相談センターへ

●東京(03)5448-3311●名古屋(052)232-2611●大阪(06)539-5111

Printed in Japan

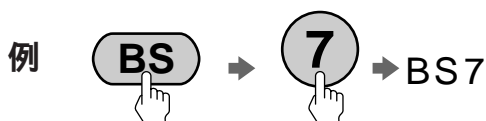
テレビ、衛星放送を見る

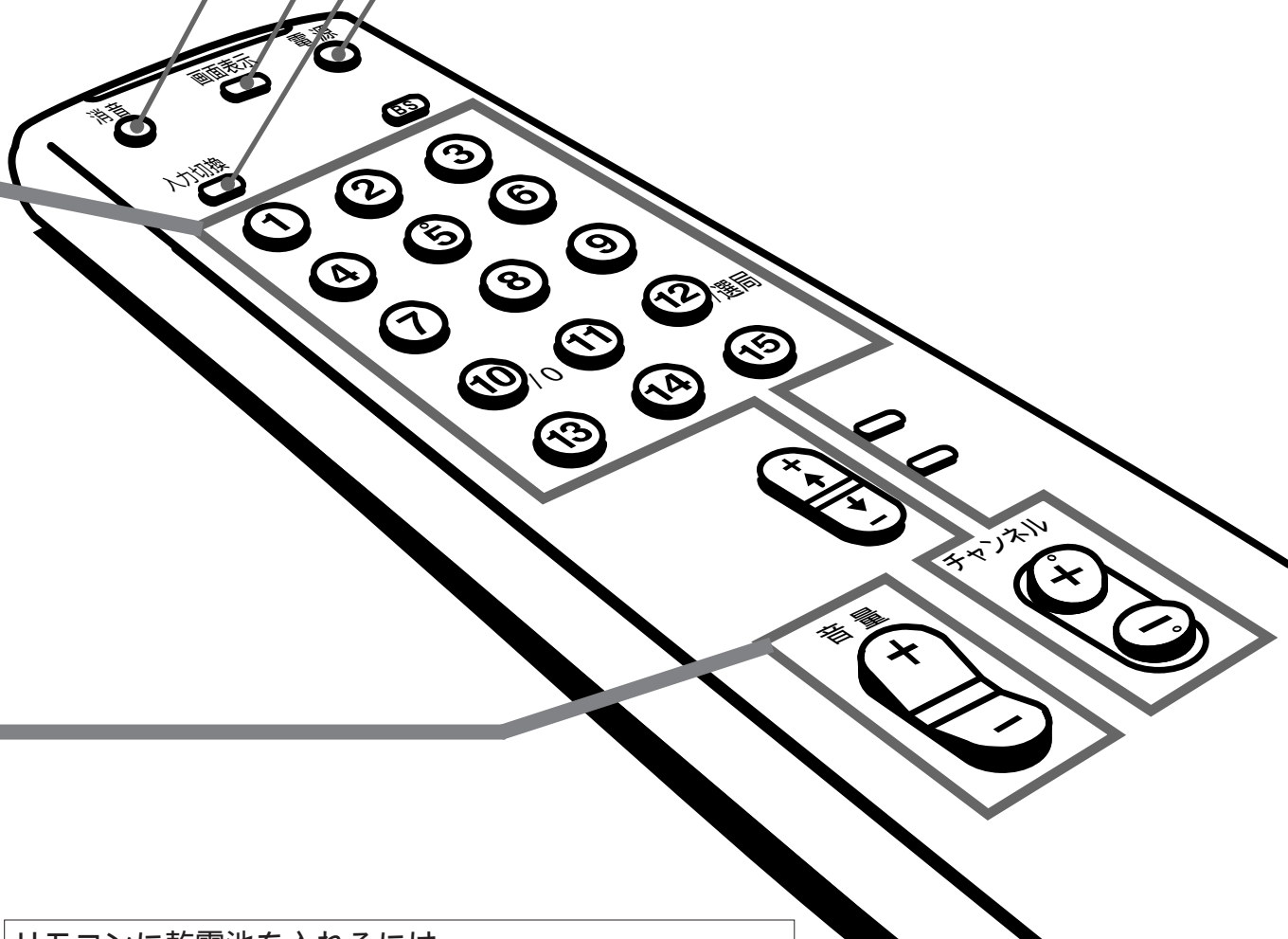
1 赤いスタンバイ／スリープランプまたは電源ランプがついているか確認する。

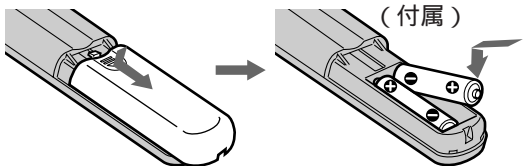
ついていないときは本体の電源スイッチを押します。

2 チャンネルを選ぶ。

ボタンを押すと、自動的にテレビがつきます。
衛星放送（BS）を見るには、数字ボタン⑬～⑮を押します。

チャンネル＋／－ボタンを押すと、①～⑮の放送が順に映ります。
衛星放送（BS）は、BSボタンを使って見ることもできます。

例

3 音量を調整する。

スタンバイ／スリープランプがついているときは、緑色表示のボタンを押すと自動的にテレビがつきます。（チャンネルポン）
有料の衛星放送（WOWOWなど）を見るときは、「有料の衛星放送を見る」をご覧ください（☞5ページ）。

リモコンに乾電池を入れるには

単3形乾電池2個
（付属）

必ずイラストのように⊖極側から電池を入れてください。

ビデオなどを見る

1 入力切換ボタンを押してビデオ機器がつないである入力を選ぶ。

押すたびに、ビデオ1→ビデオ2→テレビと切り換わります。

2 ビデオ機器の再生ボタンを押す。

詳しくはビデオ機器の取扱説明書をご覧ください。

テレビ画面に戻るには

チャンネル数字またはチャンネル＋／ー、または入力切換ボタンを押して、テレビに切り換えます。

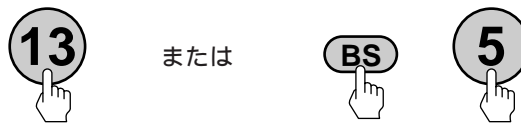
有料の衛星放送を見る

有料の衛星放送を見るには、BSデコーダーの接続が必要です。

1 BSデコーダーの電源を入れる。

2 チャンネルボタンを押し、放送を選ぶ。

WOWOWを見るには

または

独立音声を聞くには

1997年4月現在、独立音声放送はBS5チャンネル（St.GIGA）でのみ放送されています。（St.GIGAは、WOWOWとは別に受信契約が必要です。）

1. メニューボタンを押してメニューを出し、選択＋／ーボタンを押して▶を「設定」の位置に動かし、決定ボタンを押す。
2. 選択＋／ーボタンを押して「TV／独立音声選択」を選び、決定ボタンを押す。
3. 選択＋／ーボタンを押して「独立ステレオ」を選び、決定ボタンを押す。
   スクランブルがかかっているときは、デコーダー側で独立音声に切り換えます。
4. メニューボタンを押して、メニューを消す。

ハイビジョン放送を見るには

別売りのMUSE-NTSCコンバーターが必要です。1997年4月現在、BS9チャンネルでは実用化試験局による放送が行われています。

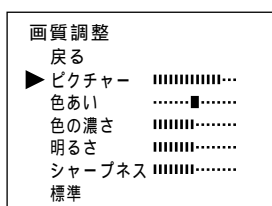
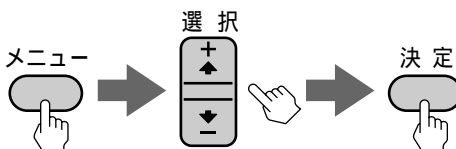
ご注意

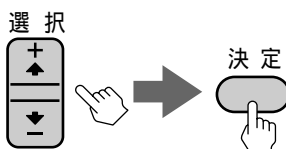
BSデコーダーを接続して有料の衛星放送を見ているとき、音声モードは表示されません。音声モードの切り換えは、デコーダー側で行ってください。
また、このとき受信チャンネルは水色で表示されます。

画質を調整する

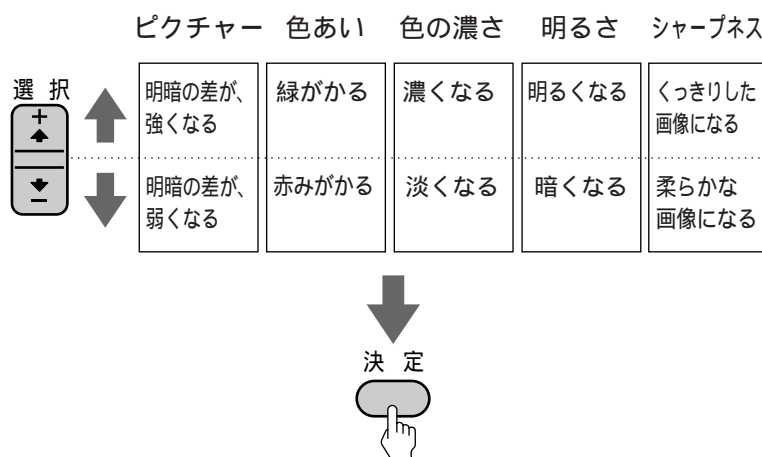
画質を標準（お買い上げ時）の状態にするには
調整項目の一番下にある「標準」を選びます。

1

メニューボタンを押してメニューを出し、選択＋／－ボタンを押して▶を「画質調整」の位置に動かし、決定ボタンを押す。

2

選択＋／－ボタンを押して調整する項目に▶を合わせ、決定ボタンを押す。

3

選択＋／－ボタンを押して調整し、決定ボタンを押す。

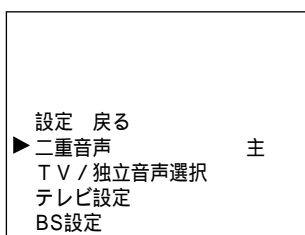
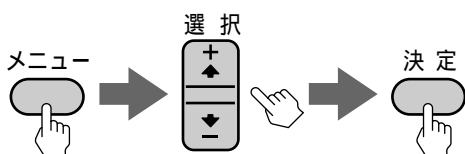
選択	ピクチャー	色あい	色の濃さ	明るさ	シャープネス
＋	明暗の差が、強くなる	緑がかる	濃くなる	明るくなる	くっきりした画像になる
－	明暗の差が、弱くなる	赤みがかる	淡くなる	暗くなる	柔らかな画像になる

4 手順2と3を繰り返して、他の項目を調整する。

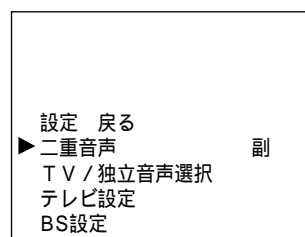
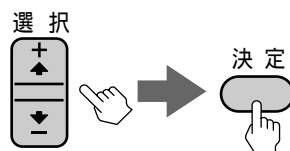
5 メニューボタンを押してメニューを消す。

音声を切り換える

二重音声放送のときには、主音声、副音声、主音声＋副音声のいずれかを選べます。

1 **メニューボタンを押してメニューを出し、選択＋／－ボタンを押して▶を「設定」の位置に動かし、決定ボタンを押す。**

設定　戻る
▶ 二重音声　　　　主
ＴＶ／独立音声選択
テレビ設定
BS設定

2 **▶が「二重音声」の横にあることを確認して、決定ボタンを押す。**

3 **選択＋／－ボタンを押して、「主」、「副」、「主／副」のいずれかを選び、決定ボタンを押す。**

4 **メニューボタンを押してメニューを消す。**

VHF/UHFのステレオ放送で雑音が気になるときは

音声をモノラルにして雑音を軽減することができます。

1. メニューボタンを押してメニューを出し、選択＋／－ボタンを押して▶を「設定」の位置に動かし、決定ボタンを押す。
2. 選択＋／－ボタンを押して「テレビ設定」を選び、決定ボタンを押す。
3. 選択＋／－ボタンを押して「オートステレオ」を選び、決定ボタンを押す。
4. 選択＋／－ボタンを押して「切」を選び、決定ボタンを押す。
5. メニューボタンを押してメニューを消す。

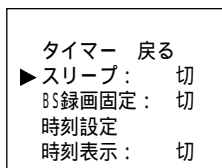
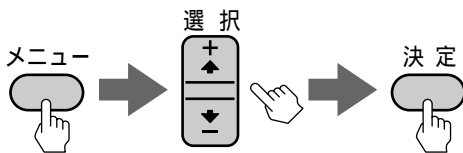
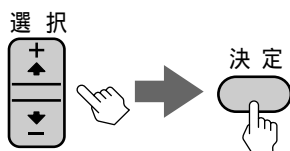
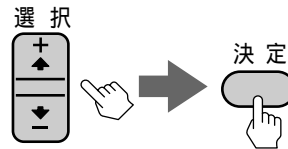
「オートステレオ」を「切」にすると、VHF/UHFすべてのチャンネルの音声がモノラルになります。ステレオでお聞きになるときは「オートステレオ」を「入」に戻してください。

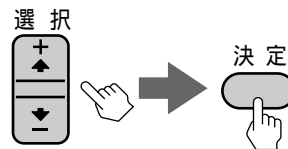
時計を使う

時計を表示する

昼の12時も夜の12時も0:00と表示されます。

1 **メニューボタンを押してメニューを出し、選択＋／－ボタンを押して▶を「タイマー」の位置に動かし、決定ボタンを押す。**

タイマー　戻る
▶スリープ：　切
BS録画固定：　切
時刻設定
時刻表示：　切

2 **選択＋／－ボタンを押して「時刻設定」を選び、決定ボタンを押す。**

3 **▶が−−：−−の横にあることを確認して、決定ボタンを押す。**

4 **時間を設定する。**

時→分の順に設定します。選択＋／－ボタンを押して数字を送り、決定ボタンを押して、時刻を設定します。

5 **選択＋／－ボタンを押して「時刻表示」を選び決定ボタンを押し、「入」にして、決定ボタンを押す。**

時刻表示が出たままになります。

6 **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

タイマーで電源を切る

テレビをつけたままおやすみになっても、「スリープ」を「入」にしておけば約1時間後にテレビが消えます。

1. メニューボタンを押してメニューを出し、選択＋／－ボタンを押して「タイマー」を選び、決定ボタンを押す。
2. 選択＋／－ボタンを押して「スリープ」を選び、決定ボタンを押す。
3. 選択＋／－ボタンを押して「入」を選び、決定ボタンを押す。本体のスタンバイ／スリープランプが点灯します。
4. メニューボタンを押して、メニューを消す。

衛星放送を録画する

テレビのBSチューナーを使って、衛星放送をビデオに録画することができます。この場合、必ず「衛星放送を録画するための接続」☞26ページを行ってください。

見ながら録画する

1 録画したい番組をテレビに映す。

2 ビデオデッキを操作する。

ビデオデッキの入力切り換えを外部入力（またはライン入力）にし、録画を始めてください。

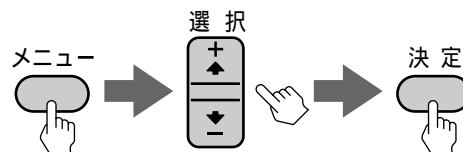
予約録画する

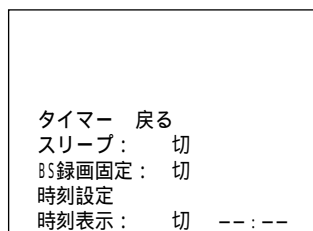
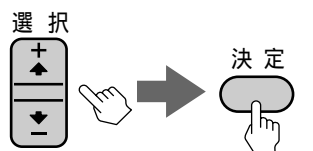
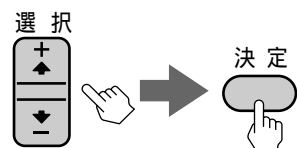
48時間以内の番組を予約録画することができます。

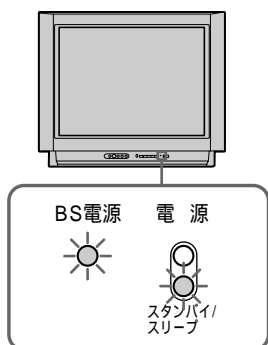
1 録画したいチャンネルをテレビに映す。

2 ビデオデッキで録画を予約する。

ビデオデッキの入力切り換えを外部入力（ライン入力）にしてください。

3 メニューボタンを押してメニューを出し、選択＋／－ボタンを押して▶を「タイマー」の位置に動かし、決定ボタンを押す。

4 選択＋／－ボタンを押して、▶を「BS録画固定」の位置に動かし、決定ボタンを押す。

タイマー　戻る
スリープ：　切
BS録画固定：　切
時刻設定
時刻表示：　切　－－：－－

5 選択＋／－ボタンを押して、「BS録画固定」を「入」にし、決定ボタンを押す。

6 メニューボタンを押してメニューを消す。

7 リモコンで電源を切る。

BS電源ランプが点灯したままになります。

スクランブルのかかった放送を録画するときは、デコーダーの電源を入れたままにしてください。

BSチューナー部のチャンネルと音声が固定されて、ほかのBSのチャンネルに切り換わらなくなります。BS録画固定をしたあとは、リモコンでテレビを消しても、BSチューナー部は、BS録画固定をしてから48時間電源が入った状態になります。

BSのほかのチャンネルを見るにはBS録画固定を解除してください。

ご注意

- テレビ本体の電源ボタンでテレビを消すと録画できなくなります。
- BS録画固定をすると、BSのチャンネルは固定されます。
- 「BS録画固定」を「入」に設定してから、約48時間後にBS電源は自動的に切れます。

BS録画固定を解除するには

もう一度、リモコンで電源を入れた後、メニューの「BS録画固定」を「切」にします。

裏番組を録画するには

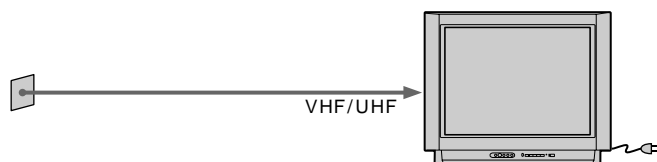
テレビ（VHF 、UHF、CATV）やビデオを見ながら、衛星放送を録画することができます。このとき、録画している番組を誤って切り換えないよう、前頁の「予約録画する」の手順3〜6に従って、「BS録画固定」を「入」にしてください。テレビのチャンネルを切り換えても衛星放送のチャンネルは固定されたままになります。

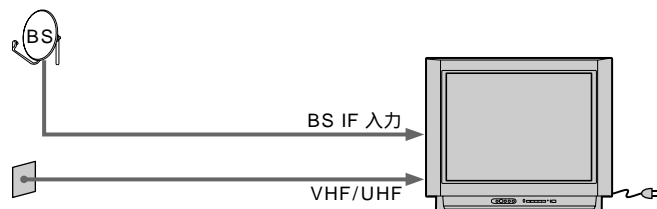
独立音声を録音するには

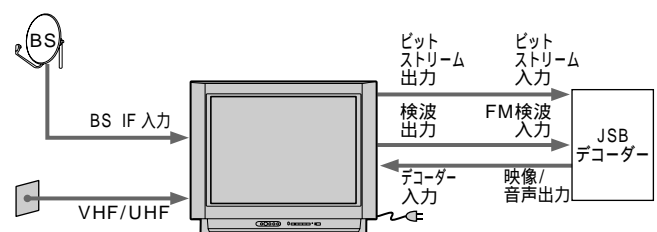
メニューの「設定」から「TV／独立音声選択」を選んで「独立ステレオ」にしてください。スクランブル放送のときは、デコーダー側で独立音声を選んでください。

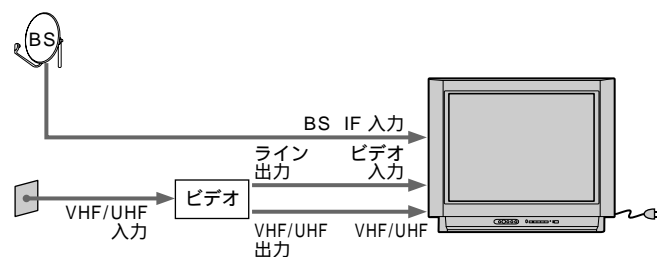
準備早わかり

受信する放送の種類や接続する機器によって準備のしかたが異なります。
下の例を参考に準備をしてください。

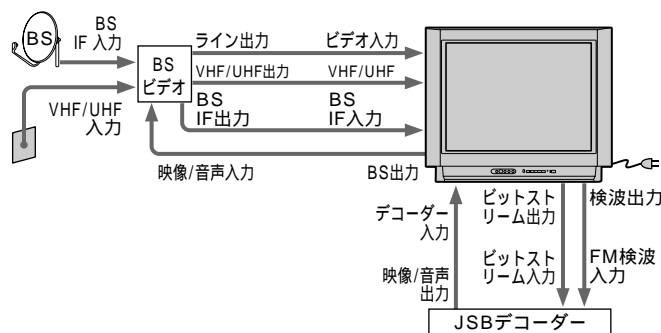
テレビ

1 テレビアンテナをつなぐ☞14ページ
2 電源をつなぐ
3 テレビチャンネルを設定する☞16ページ

テレビ＋BS（N H K衛星第1、第2）

1 テレビアンテナをつなぐ☞14ページ
2 BSアンテナをつなぐ☞20ページ
3 電源をつなぐ
4 テレビチャンネルを設定する☞16ページ
5 BS受信の設定をする☞21ページ

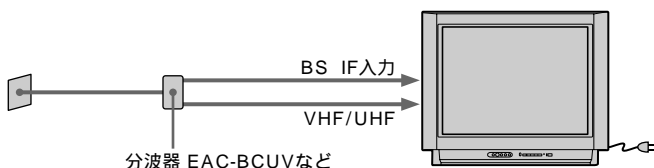
テレビ＋有料BS（WOWOW、St.GIGA）

1 テレビアンテナをつなぐ☞14ページ
2 BSアンテナをつなぐ☞20ページ
3 JSBデコーダーをつなぐ☞23ページ
4 電源をつなぐ
5 テレビチャンネルを設定する☞16ページ
6 BS受信の設定をする☞21ページ
7 BSデコーダーを設定する☞24ページ

テレビ＋BS（NHK衛星第1、第2）＋ビデオ

1 テレビアンテナを、ビデオデッキを経由してテレビにつなぐ☞14、26ページおよびビデオデッキの取扱説明書
2 BSアンテナをテレビにつなぐ☞20ページ
3 ビデオデッキをテレビにつなぐ☞26ページ
4 電源をつなぐ
5 テレビチャンネルを設定する☞16ページ
6 BS受信の設定をする☞21ページ

衛星放送を録画する場合は、「衛星放送を録画するための接続」（☞26ページ）を行ってください。

テレビ＋有料BS（WOWOW、St.GIGA）＋BSビデオ

1 テレビ／BSアンテナを、ビデオデッキを経由してテレビにつなぐ☞14、20、26ページおよびビデオデッキの取扱説明書
2 JSBデコーダーをテレビにつなぐ☞23ページ
3 ビデオデッキをテレビにつなぐ☞26ページ
4 電源をつなぐ
5 テレビチャンネルを設定する☞16ページ
6 BS受信の設定をする☞21ページ
7 BSデコーダーを設定する☞24ページ

マンションなどの共同受信システムの場合

マンションなどでは、部屋のアンテナ端子ひとつでテレビ、BSを受信できる場合があります。

1 分波器を使ってテレビ／BSアンテナをつなぐ
2 電源をつなぐ
3 テレビチャンネルを設定する☞16ページ
4 BS受信の設定をする☞21ページ

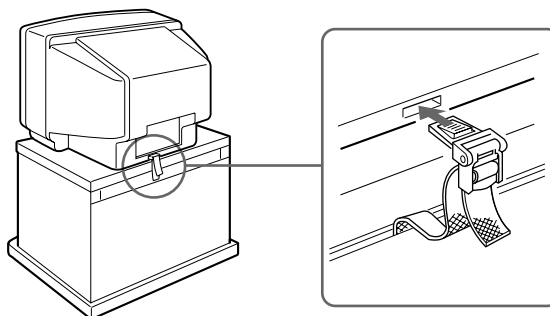
ケーブルテレビの場合

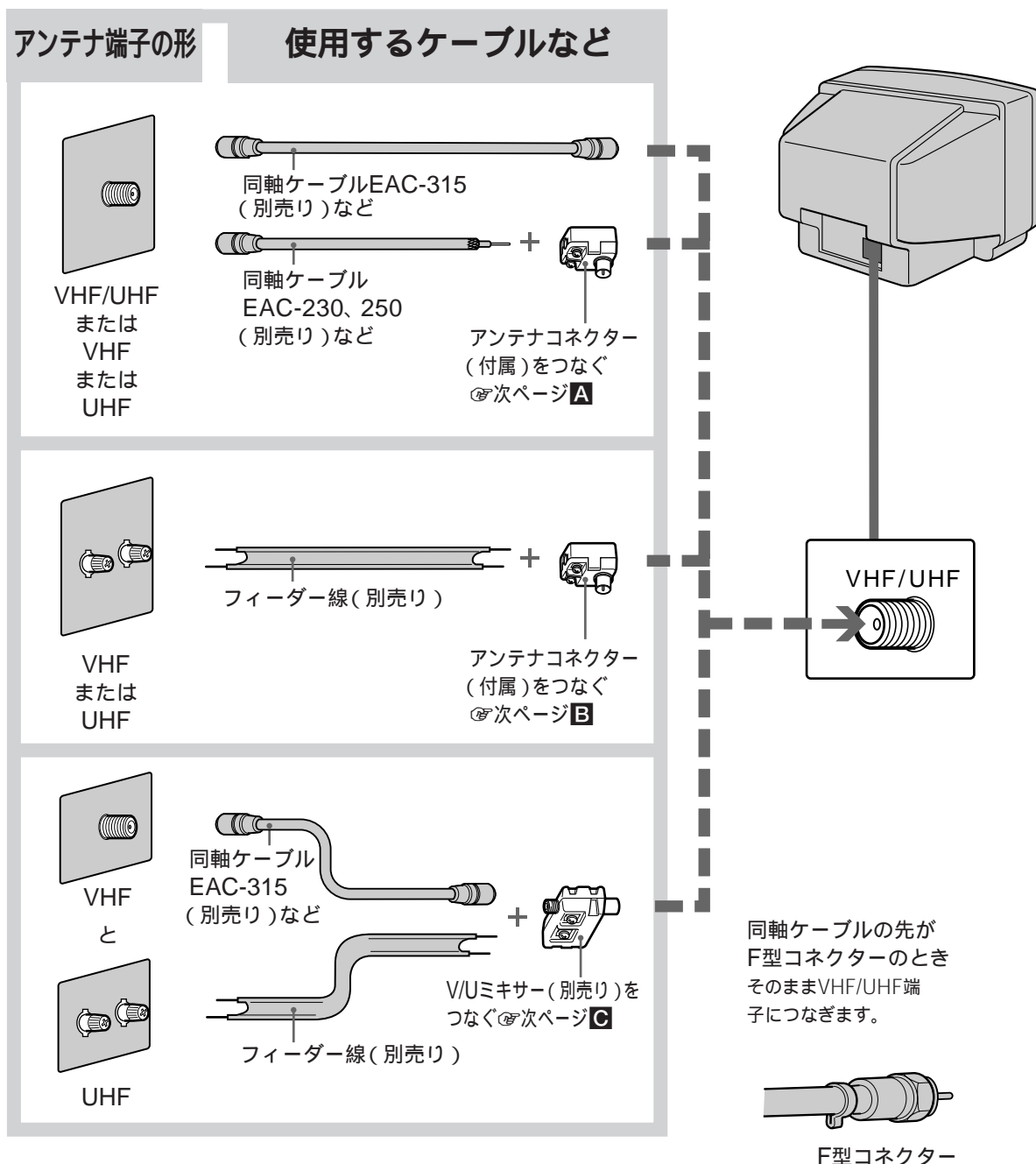
ケーブルシステムによって準備のしかたが異なりますので、ケーブルテレビ放送会社にお問い合わせください。

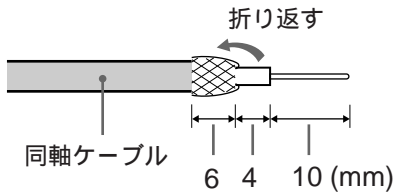
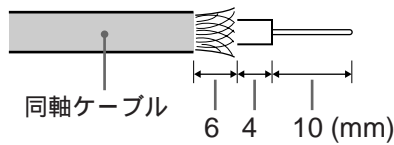
テレビの転倒を防ぐために

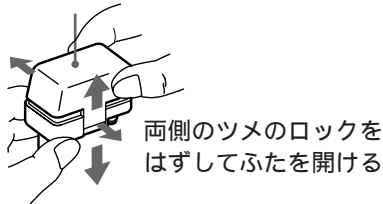
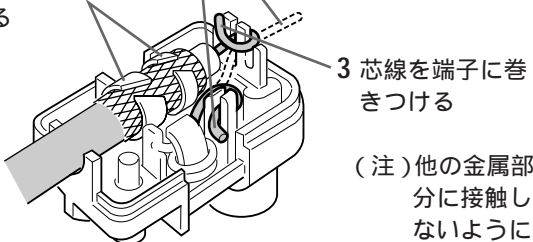
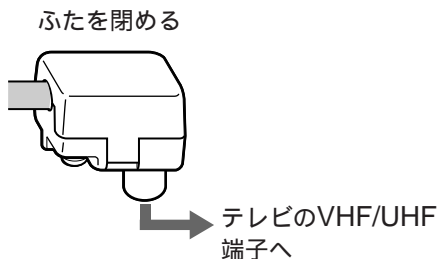
お子様がテレビに登ったり、押したりすると、テレビが倒れる恐れがあります。下記の別売り品を使用してテレビの転倒を防いでください。なお、固定ベルトの取りつけかたは、別売り品に付属の取扱説明書をご覧ください。

- テレビラック固定ベルト　　BLT-R10
- テレビラック固定ベルト付属のテレビスタンド SU-25V

準備編

テレビアンテナをつなぐ

アンテナのつなぎかたは、部屋のアンテナ端子の形や使用するケーブルによって異なります。
下の例から最も近いものを選び、接続してください。
なお、いずれにも当てはまらない場合は、販売店などにご相談ください。

A 同軸ケーブルにアンテナコネクターをつなぐ

1 3C-2V**の場合**

5C-2V**の場合**

2

3

4

B フィーダー線にアンテナコネクターをつなぐ

1

2

ネジをゆるめて芯線を
巻きつけ、ネジを締める

テレビの
VHF/UHF
端子へ

アンテナコネクター

C V/Uミキサーをつなぐ

1

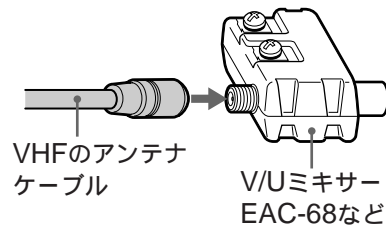
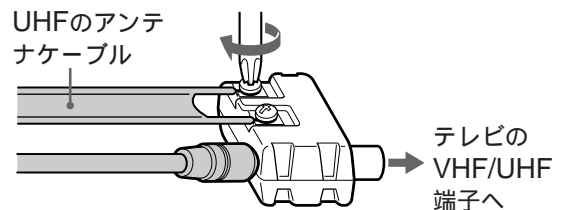
VHFのアンテナ
ケーブル

V/Uミキサー
EAC-68など

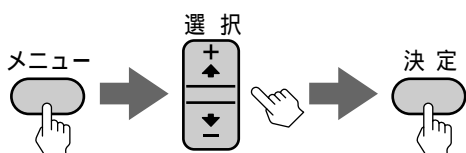
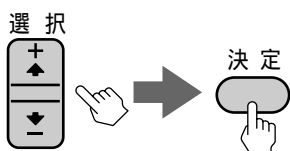
2

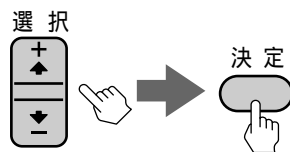
ネジをゆるめて芯線を巻きつ
け、ネジを締める

UHFのアンテ
ナケーブル

テレビの
VHF/UHF
端子へ

チャンネルを自動設定する

現在ご覧になれるVHF/UHFの放送を、①から⑫のチャンネルボタンに自動的に割り当てます。衛星放送は⑬から⑮のボタンにあらかじめ割り当ててありますので設定しなくてもご覧になれます。

1 **メニューボタンを押してメニューを出し、選択＋／－ボタンを押して▶を「設定」の位置に動かし、決定ボタンを押す。**

2 **選択＋／－ボタンを押して「テレビ設定」を選び、決定ボタンを押す。**

テレビ設定　戻る
▶自動ＣＨ設定：　入
チャンネル設定変更
チャンネル表示書換
バンド：　　UHF
選局：　ダイレクト
オートステレオ：入

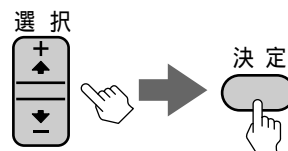
3 **「自動CH設定」を選び、「入」になっていることを確認して決定ボタンを2回押す。**

自動的に設定が始まります。

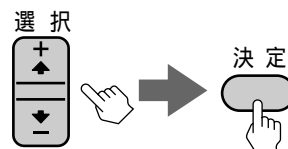
設定が終わると、下の画面に変わります。

4 **設定されたチャンネルを確認し、必要があれば変更する。**

5より大きい番号を確認するには、▶を画面の下まで動かします。

変更するには

1 変更したい数字（リモコンの数字ボタン）に▶を合わせ、決定ボタンを押す。

設定されたチャンネルが映ります。

2 選択＋／－ボタンを押して設定されたチャンネルを変更し、決定ボタンを押す。

3 手順**1**と**2**をくり返して、他のチャンネルを変更する。

5 メニューボタンを押してメニューを消す。

チャンネル設定を中断するには
「自動チャンネル設定実行中です」のメッセージが出ている間にメニューボタンを押します。

UHFのチャンネル番号について
地域によっては、実際のチャンネル番号で呼ばれず、通称のチャンネル番号で呼ばれていることがあります。新聞のテレビ欄などでお確かめください。

設定されたチャンネルを変更するには

1 メニューボタンを押し選択＋／ーボタンを押して、「設定」を選び、決定ボタンを押す。
2 選択＋／ーボタンを押して「テレビ設定」を選び、決定ボタンを押す。
3 選択＋／ーボタンを押して「チャンネル設定変更」を選び、決定ボタンを押す。
4 「チャンネルを自動設定する」の手順4に従って、チャンネルを変更する。
5 メニューボタンを押して、メニューを消す。

ケーブルテレビを見るには

ケーブルテレビはサービスの行われている地域のみで見ることができ、ケーブルテレビ放送会社との契約手続きが必要です。詳しくはケーブルテレビ放送会社にお問い合わせください。
1 メニューボタンを押し選択＋／ーボタンを押して、「設定」を選び、決定ボタンを押す。
2 選択＋／ーボタンを押して「テレビ設定」を選び、決定ボタンを押す。
3 選択＋／ーボタンを押して「バンド」を選び、決定ボタンを押す。
4 選択＋／ーボタンを押して「CATV」を選び、決定ボタンを押す。
5 選択＋／ーボタンを押して「チャンネル設定変更」を選び、決定ボタンを押す。
6 「チャンネルを自動設定する」の手順4に従って、ケーブルテレビのチャンネルを設定する。
7 メニューボタンを押して、メニューを消す。

チャンネル表示を書き換えるには

1 メニューボタンを押し選択＋／ーボタンを押して、「設定」を選び、決定ボタンを押す。
2 選択＋／ーボタンを押して「テレビ設定」を選び、決定ボタンを押す。
3 選択＋／ーボタンを押して「チャンネル表示書換」を選び、決定ボタンを押す。

4 表示を書き換えたいチャンネルを選び、決定ボタンを押す。
5 選択＋／ーボタンを押して、チャンネル表示を書き換え、決定ボタンを押す。
6 メニューボタンを押してメニューを消す。

放送のないチャンネルをとばすには

チャンネル＋／ーボタンを押したときに、放送のないチャンネルや見ないチャンネルをとばす（選局しない）ように設定することができます。
1 「チャンネルを自動設定する」の手順4の1で、放送のないチャンネルや見ないチャンネルを選ぶ。
2 選択＋／ーボタンを押して、「CH」を「0」にする。
3 メニューボタンを押してメニューを消す。

準備編

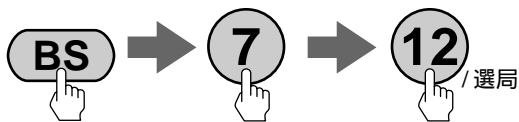
10キー選局にする

10キー選局とは

数字ボタンを押すと、通常は対応するチャンネルが映ります（「ダイレクト選局」）が、この方法で見られるチャンネルの数は15までです。見たいチャンネルの数が15を越えるときは「10キー選局」に切り換えてください。「10キー選局」にすると、リモコンの数字ボタンを組み合わせてお好きなチャンネルを選ぶことができます。

例） 24**チャンネル**

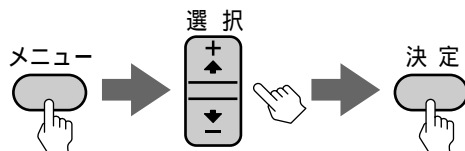
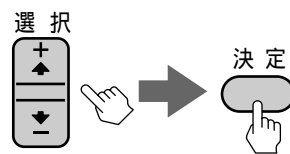
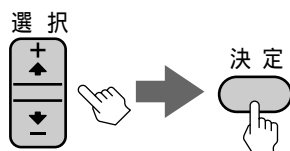
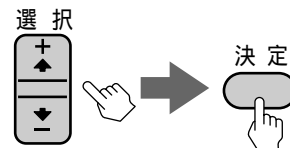
10**チャンネル**

BS7**チャンネル**

数字ボタンの10と12は以下の働きになります。

……0を入力する

12/選局 ……選局ボタン

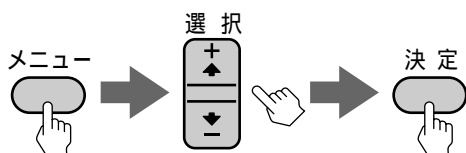
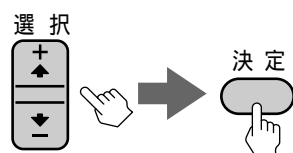
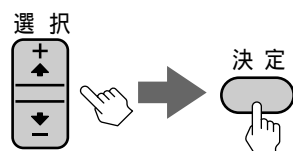
10キー選局に切り換える

1 **メニューボタンを押してメニューを出し、選択＋／－ボタンを押して▶を「設定」の位置に動かし、決定ボタン押す。**

2 **選択＋／－ボタンを押して「テレビ設定」を選び、決定ボタンを押す。**

3 **選択＋／－ボタンを押して「選局」を選び、決定ボタンを押す。**

4 **選択＋／－ボタンを押して「10キー」を選び、決定ボタンを押す。**

テレビ設定　戻る
自動ＣＨ設定：　入
チャンネル設定変更
チャンネル表示書換
バンド：　ＵＨＦ
▶選局：　１０キー
オートステレオ：　入

5 **メニューボタンを押してメニューを消す。**

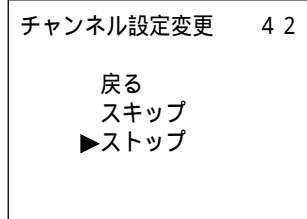
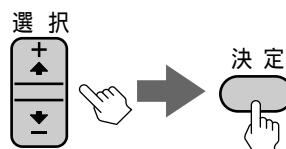
チャンネル＋／ーボタンで選べる局を設定する

お買い上げ時はチャンネル＋／ーボタンで、1〜12チャンネルとBS5、BS7、BS11チャンネルを選ぶことができます。
これ以外のチャンネルを選ぶときや、放送のないチャンネルをとばしたいときは、次のように設定してください。

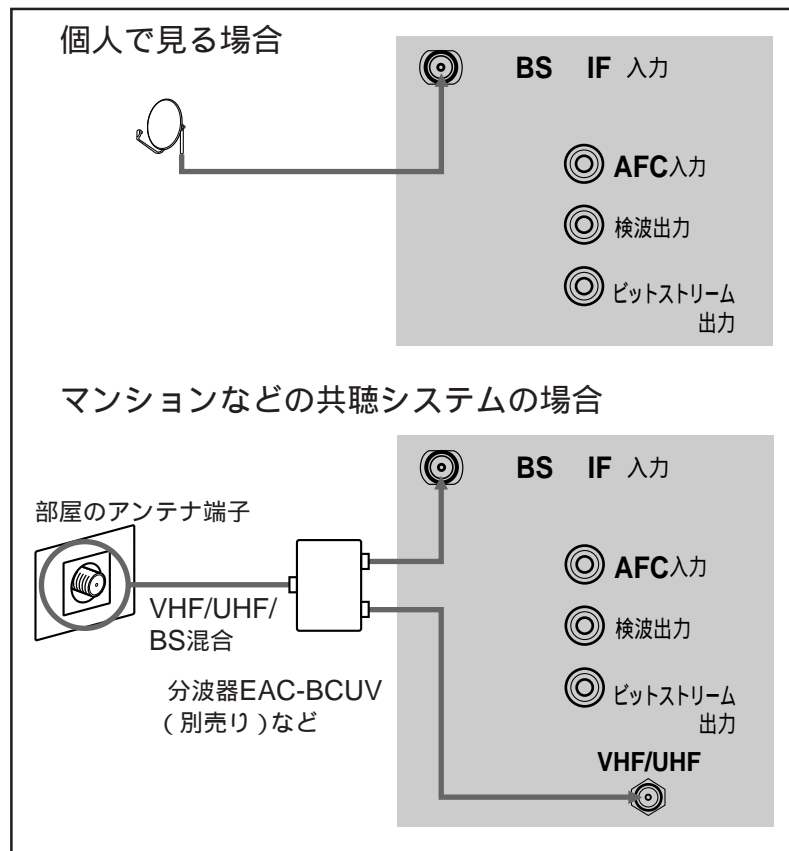
1 **メニューボタンを押してメニューを出し、選択＋／ーボタンを押して▶を「設定」の位置に動かし、決定ボタン押す。**

2 **選択＋／ーボタンを押して「テレビ設定」を選び、決定ボタンを押す。**

3 **選択＋／ーボタンを押して「 チャンネル設定変更」を選び、決定ボタンを押す。**

4 **見たいチャンネルまたはとばしたいチャンネルを選ぶ。**

例） 42**チャンネルなら**

例） BS7**チャンネルなら**

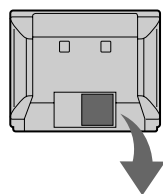
5 **選択＋／ーボタンを押して、見たいチャンネルのときは「ストップ」を、とばしたいチャンネルのときは「スキップ」を選び、決定ボタンを押す。**

6 **複数のチャンネルを設定する場合は、手順4と5を繰り返す。**

7 **メニューボタンを押してメニューを消す。**

BSアンテナをつなぐ

BS受信用の別売り商品

- BSアンテナ
  SAN-37J2
  SAN-37K2SET
  SAN-50HD2
- アンテナ取り付け金具
  ANJ-K1（壁面タイプ）
  ANJ-B1（ベランダタイプ）
- BS分配器
  EAC-BC2
  EAC-BC4
- BS/UV混合分波器
  EAC-BCUV
- BS用ブースター
  BO-BC20
- 同軸ケーブル
  SAK-C10（10m）
  SAK-C20（20m）
  SAK-C30（30m）

アンテナ接続後は、「BS受信の設定をする」を行ってください。☞21ページ。

●アンテナをつなぐ端子はテレビ裏面にあります

アンテナケーブルをつなぐときのご注意

- ケーブル、アンテナコネクターは、BS専用のものをお使いください。VHF/UHFのアンテナコネクターは、BS用には使わないでください。
- 工具を使わずに、手でしっかりと締めてください。工具を使うと、端子をいためることがあります。
- BS IF入力端子はDC15Vの電源をBSアンテナ（コンバーター）に供給します。VHF、UHFのアンテナは絶対につながないでください。

サテライト分配器についてのご注意

サテライト分配器をお使いになるときは、必ず、どの端子からもコンバーターに電源を供給するタイプ（EAC-BC2またはEAC-BC4など）をお使いください。サテライト分配器には、特定の端子からのみコンバーターに電源を供給するタイプもありますが、このタイプを使用した場合、BSチューナー内蔵ビデオデッキでも、テレビの電源を入れないと衛星放送を録画できないなどの不都合が生じることがあります。

テレビ画面に「コンバーター電源を確認してください」という表示が出ているときは

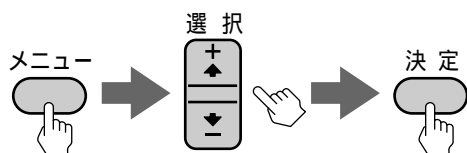
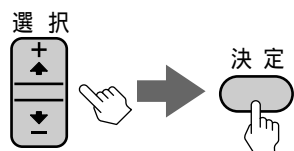
BSアンテナからのアンテナ線がショートしています。すぐにテレビ本体の電源を切り、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。

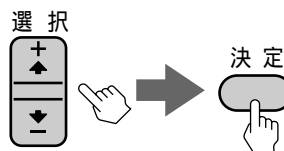
BS受信の設定をする

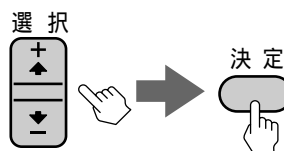
BSアンテナをつないだときは、必要に応じて「BS設定」をしてください。

BS電源を設定する

1 BS**のチャンネルにする。**

2 **メニューボタンを押してメニューを出し、選択＋／－ボタンを押して「設定」を選び、決定ボタンを押す。**

3 **選択＋／－ボタンを押して「**BS**設定」を選び、決定ボタンを押す。**

BSのときのみ選択できます。

4 **選択＋／－ボタンを押して「**BS**電源」を選び、決定ボタンを押す。**

ＢＳ設定　　戻る
アンテナレベル
デコーダー入力切換
▶ＢＳ電源：オート

5 **選択＋／－ボタンを押してアンテナのつなぎかたに合わせた設定を選び、決定ボタンを押す。**

ＢＳ設定　　戻る
アンテナレベル
デコーダー入力切換
▶ＢＳ電源：連動

設　定	内　　　容
●オート	BSコンバーターへの電源の供給を、テレビが自動的に判断して行います。
切	BSコンバーターへの電源は供給されません。マンションなどの共聴システムのとき、選んでください。
連動	テレビがついているとき、BSコンバーターへ電源を供給します。個別アンテナでBSの映像が映ったり消えたりするときに選んでください。

（●は、お買い上げ時の設定を示します。）

6 **メニューボタンを押してメニューを消す。**

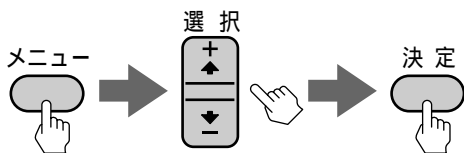
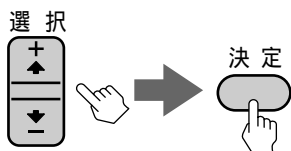
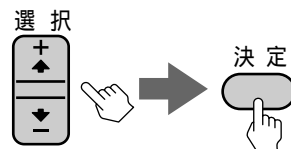
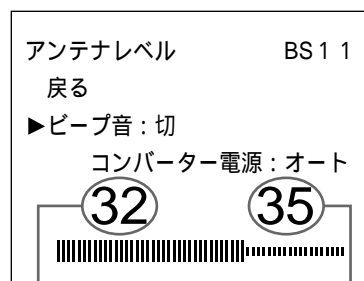
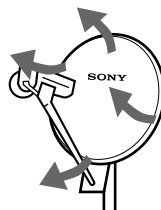
つづく

BS受信の設定をする（つづき）

アンテナの角度を調整する

BSアンテナに直接つないだときは、アンテナの方向と角度を調整する必要があります。
最良の調整ができるように、 テレビの画面上の数字や音で確かめられるようになっています。

1 **放送のあるBSのチャンネルを選ぶ。**

2 **メニューボタンを押してメニューを出し、選択＋／－ボタンを押して「設定」を選び、決定ボタンを押す。**

3 **選択＋／－ボタンを押して「BS設定」を選び、決定ボタンを押す。**

4 **選択＋／－ボタンを押して「アンテナレベル」を選び、決定ボタンを押す。**

5 **アンテナを調整する。**
アンテナレベルの数値が最大になるように、アンテナの方向・角度を調整します。

コンバーター電源が「切」になっているときは、「BS電源」を「オート」または「連動」に設定してください☞21ページ。

6 **調整が終わったら、メニューボタンを押してメニューを消す。**

音を聞いて調整するには

テレビ画面で確認できないときに便利です。

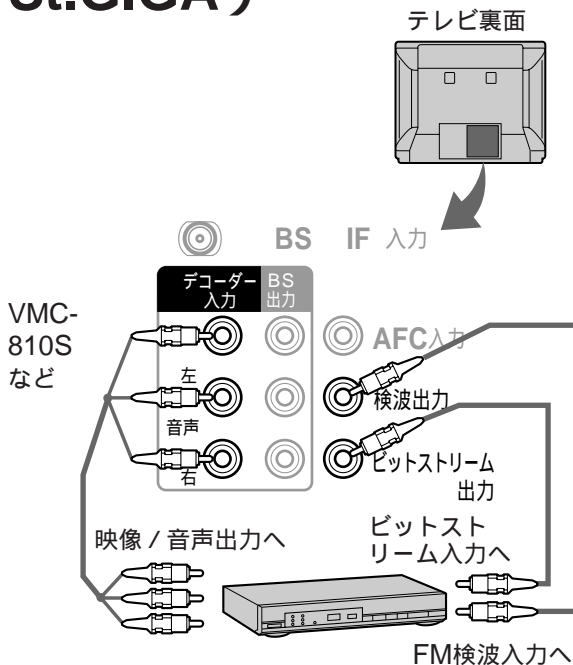
1. 手順4のあと「ビープ音」を選び、決定ボタンを押す。
2. 選択＋／－ボタンを押して「入」を選び、決定ボタンを押す。
3. 手順5で連続した最高音になるようアンテナを調整する。
   緑色の数値が大きいほど、高音になります。

ご注意
ハイビジョン放送のときは、アンテナレベルは正しく動作しません。

BSデコーダーをつなぐ

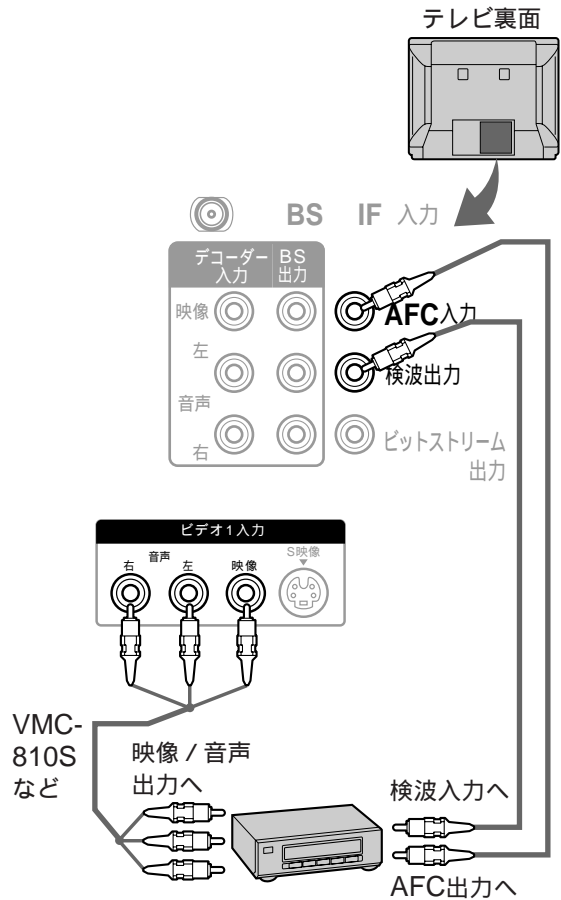
有料の衛星放送を見るためには、デコーダーをつなぐ必要があります。詳しくはBSの放送会社にお問い合わせください。お買い上げ時は、スクランブルのかかった放送を受信すると、接続したBSデコーダーを通してスクランブルを解除するように設定されています。（デコーダー入力への自動切り換え機能）

JSBデコーダ（WOWOW/St.GIGA）

テレビ裏面
BS IF 入力
デコーダー入力
BS出力
AFC入力
左
音声
右
検波出力
ビットストリーム出力
VMC-810Sなど
映像／音声出力へ
ビットストリーム入力へ
FM検波入力へ

デコーダーのスイッチの設定
BSデコーダーの「検波／映像」切り換えスイッチを「検波」にしてください。

独立音声放送用デコーダーを接続する場合
デコーダー入力の音声端子のみ接続してください。

ご注意
BSデコーダーは必ず、デコーダー入力端子に接続してください。デコーダー入力端子に接続しないと、デコーダー入力へ自動的に切り換わりません。

MUSE-NTSCコンバーター（ハイビジョン）

ハイビジョン放送を見るときはハイビジョンのチャンネルにしてからMUSE-NTSCコンバーターを接続した入力に切り換えてください☞24ページ。

デコーダー入力端子が空いている場合

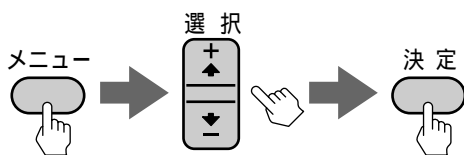
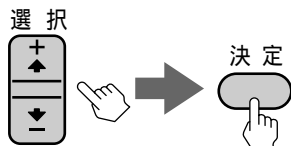
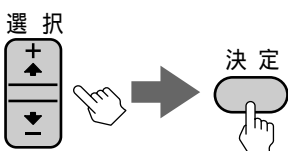
ビデオ入力ではなくデコーダー入力端子に接続し、メニューの「デコーダー入力切換」で「BS9」の設定を「デコーダー」にしておけば、BS9チャンネルを選ぶだけで見ることができます。この場合、スクランブルのかかった放送（1997年4月現在、BS5チャンネル）は「デコーダー入力切換」を「テレビ」にしてください☞24ページ。

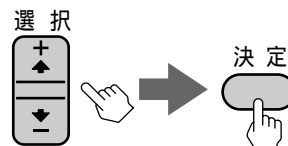
BSデコーダーをつなぐ（つづき）

デコーダーを設定する

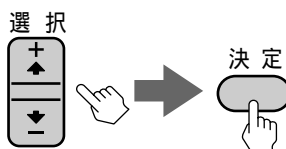
MUSE-NTSCコンバーターを接続した場合は、チャンネルごとに使用するデコーダー入力切換を設定してください。
BS（ハイビジョン放送以外）のチャンネルは、お買い上げ時の設定（オート）のままにしてください。

1 BS**のチャンネルにする。**

2 **メニューボタンを押してメニューを出し、選択＋／－ボタンを押して「設定」を選び、決定ボタンを押す。**

3 **選択＋／－ボタンを押して「**BS**設定」を選び、決定ボタンを押す。**

4 **選択＋／－ボタンを押して「デコーダー入力切換」を選び、決定ボタンを押す。**

5 **選択＋／－ボタンを押してハイビジョン放送のチャンネルを選び、決定ボタンを押す。**

BS9～15を設定したいときは、▶をBS7より下に移します。

デコーダー入力切換

戻る
▶BS 9：オート
BS 11：オート
BS 13：オート
BS 15：オート

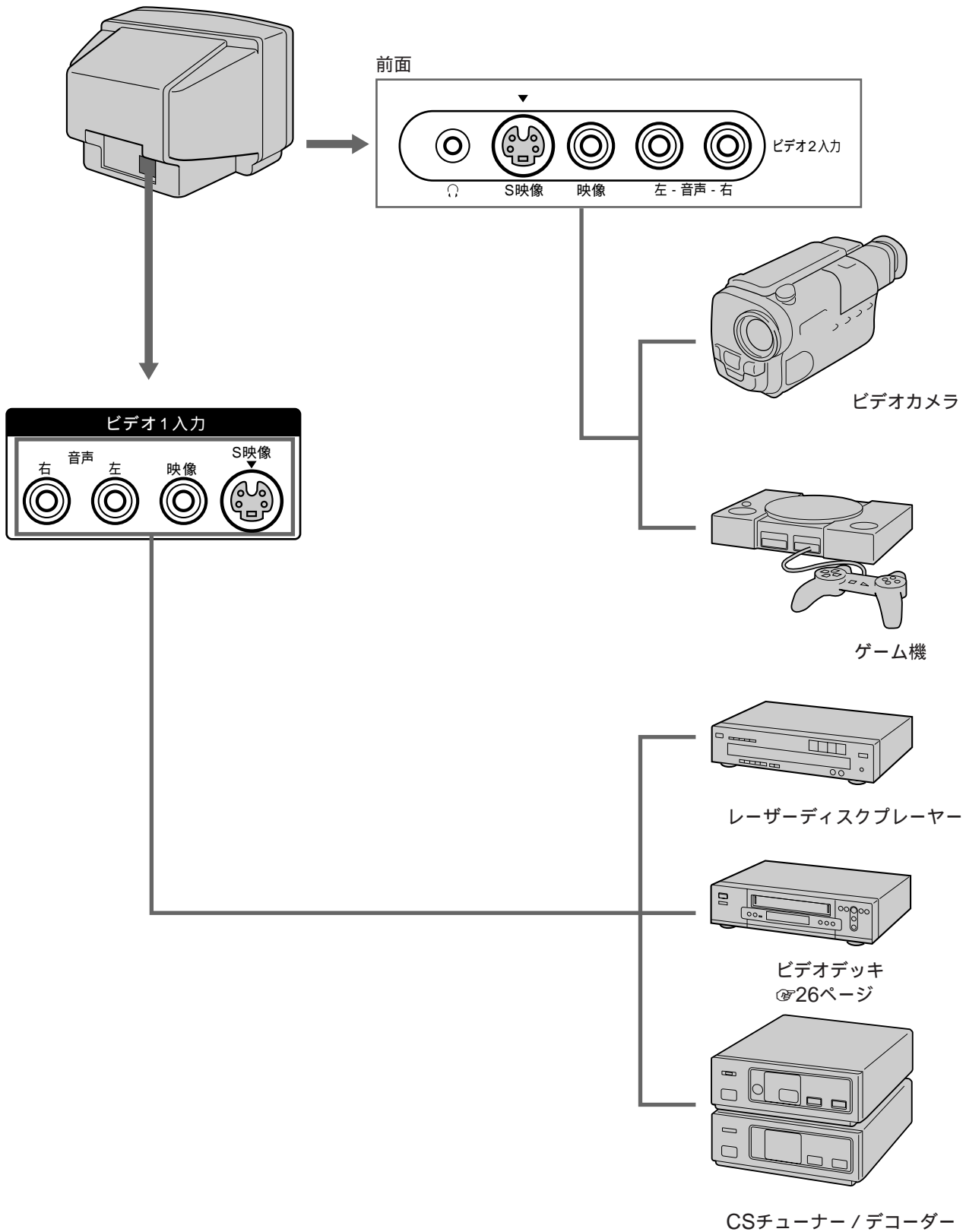
6 **選択＋／－ボタンを押して「テレビ」、「デコーダー」、「オート」の設定の中から「デコーダー」を選び、決定ボタンを押す。**

設定	内容
オート	BSのスクランブルを自動判別。
テレビ	受信した映像・音声をそのまま映す。
デコーダー	デコーダー入力端子からの映像・音声を映す。

7 **手順**5～6**を繰り返して、入力を変えたいチャンネルを**1**つずつ設定する。**

8 **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

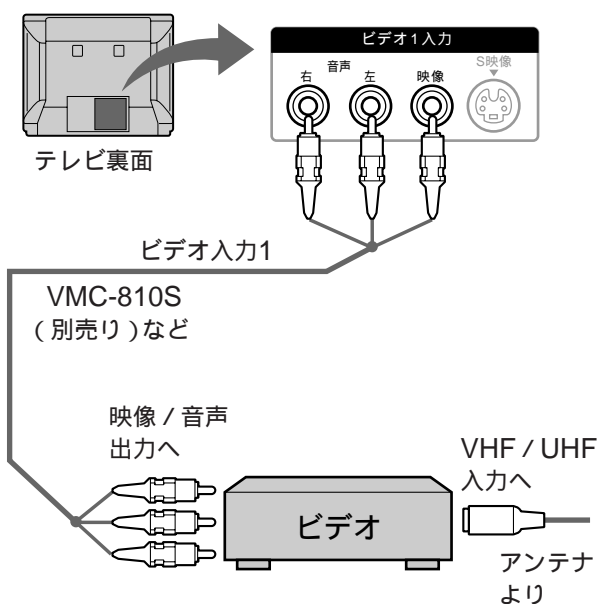
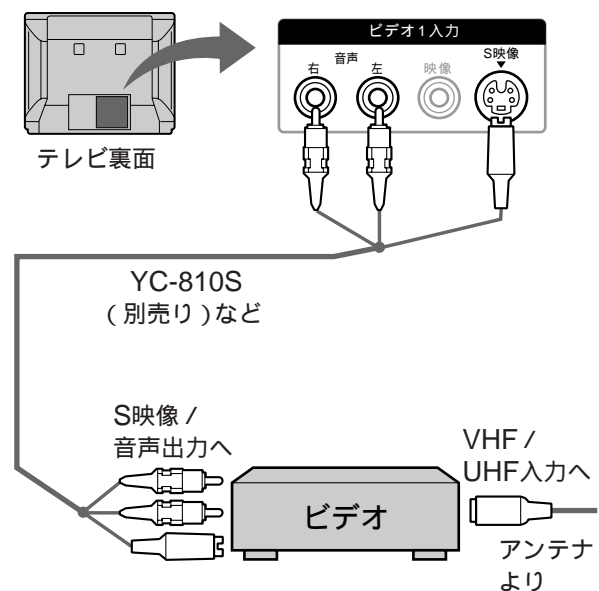
ハイビジョン放送のチャンネルを「デコーダー」に設定した場合、スクランブルのかかったほかのチャンネルは映らなくなります。その場合、そのチャンネルのデコーダー入力を「テレビ」に設定すると、スクランブルされている映像を見ることができます。

他の機器との接続例

テレビ前面・裏面の端子を使って、いろいろな機器をつなぐことができます。

ビデオデッキをつなぐ

ビデオデッキの使用目的によって接続のしかたが異なります。目的に合ったつなぎかたを選んでください。アンテナのつなぎかたは、「準備早わかり」（☞12ページ）およびビデオデッキの取扱説明書などをご覧ください。

基本の接続

S映像端子のないビデオデッキ

S映像端子付きビデオデッキ

衛星放送を録画するための接続

テレビのチューナーを使ってBSを録画する場合は、以下のようにつないでください。

故障かな？と思ったら

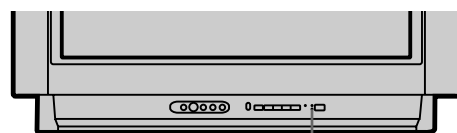
テレビが映らない	■電源コードがはずれていませんか？ ■テレビ本体の電源は入っていますか？
画像は出るが、音が出ない	■音量が下がりきっていませんか？ ■画面に「消音」の表示が出ていませんか？リモコンの消音ボタンを押して「消音」の表示を消してください。
色がつかない 色がおかしい 画面が暗い	■メニューで画質を調整してください。（☞6ページ）
画像が二重、三重になる	■アンテナ線がはずれかかっていませんか？山やビルで反射した電波がアンテナに飛び込み、画像が二重、三重になることがあります。 ■アンテナの位置、方向、角度を調整してください。 ■突然画像が二重、三重になった場合は、お買い上げ店などにご相談ください。
雪が降るような画面、うすい画面、風がふくとちらつく	■アンテナが風でこわれたり曲がったりしていませんか？ ■アンテナの寿命ではありませんか？通常3～5年、海辺では1～2年です。 ■アンテナ線がはずれていませんか？
斑点や点模様が走る	■ヘアードライヤー、自動車、バイクなどからの雑音電波が原因です。アンテナはなるべく道路から離してください。
特定のチャンネルだけが映らない	■チャンネルを合わせ直してみてください。（☞16ページ）
雑音が多い	■フィーダー線を使用していませんか？ ■「テレビ設定」で「オートステレオ」を「切」にしてください。（☞8ページ）
つないだ機器の画像、音が出ない	■接続コードがはずれていませんか？ ■リモコンの入力切換ボタンを押してみてください。
リモコンの数字ボタンを押してもチャンネルが選べない	**ダイレクト選局の場合** ■ダイレクト／10キー選局が「ダイレクト」になっていますか？（☞18ページ） **10キー選局の場合（☞18ページ）** ■ダイレクト／10キー選局が「10キー」になっていますか？ ■11チャンネルは①を2回、12チャンネルは①と②を続けて押しましたか？ ■最後に続けて⑫／選局を押しましたか？（スタンバイ／スリープランプ点灯中にチャンネル数字ボタンを押したときはチャンネル数字ボタンに続けて⑫／選局ボタンを押さないと、前回テレビを消したときのチャンネルが映ります。） **その他** ■リモコンの電池が消耗していませんか？
キャビネットから「ピシッ」というきしみ音が出る	周囲の温度変化でキャビネットが伸縮するときに「ピシッ」という音が出ることがあります。故障ではありません。
テレビの電源を切った直後に、テレビの後ろからパチパチ音がする	テレビ内部で発生する静電気が原因です。故障ではありません。
「ファイン」という文字がでたら	サービス点検用の機能です。何の操作もしなければ約3秒で消えます。

つづく

故障かな？と思ったら（つづき）

BS（衛星放送）が映らない／乱れている	BS**アンテナを直接つないでいる場合** ■「BS設定」で「BS電源」が「オート／連動」になっていますか？（☞21ページ） ■BSケーブルのコンバーター側は防水になっていますか？ ■アンテナの大きさは適切ですか？ ■アンテナの前方に障害物はありませんか？ ■アンテナの方向・角度を調整しましたか？（☞22ページ） BS**アンテナに分配器を使っている場合** ■コンバーター用電源を供給する機器のスイッチが「入」側になっていますか？ **マンションなどの共聴システムの場合** ■「BS設定」で「BS電源」が「オート／切」になっていますか？（☞21ページ） ■VHF/UHFとBSが一本のケーブルになっている場合、分波器を使っていますか？（☞20ページ） ■ケーブルの芯線は、コネクターに正しく入っていますか？ **その他** ■放送時間を確認してください。 ■雨や雪が降ると悪くなることがあります。 ■BS専用のケーブルを使っていますか？（☞20ページ） ■アンテナコネクター（バルーン）を使っていませんか？ ■「BS設定」で「デコーダー入力切換」を切り換えていませんか？（☞24ページ）
BS（衛星放送）の画像は出るが音が出ない	■スクランブル放送ではありませんか？
BS（衛星放送）のチャンネルが切り換わらない	■「BS録画固定」を「入」にしていませんか？（☞10ページ）
「コンバーター電源を確認してください」という文字がでたら	テレビ裏面のBS IF入力がショートしています。電源を切って、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。

自己診断表示（画面が消え、スタンバイ／スリープランプが点滅したら）

本機には自己診断表示機能がついています。これは本機に異常が起きたときに、スタンバイ／スリープランプの点滅およびその回数でテレビの状態をお知らせし、よりスムーズにサービス対応させていただくための機能です。スタンバイ／スリープランプが点滅したら、右の手順にそって、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

スタンバイ/スリープランプ

1 スタンバイ／スリープランプの点滅回数を数えてください。3秒おきに点滅します。たとえば、2回点滅→3秒あき→2回点滅…この場合の点滅回数は2回です。
2 テレビ本体の電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に点滅回数をお知らせください。

保証書とアフターサービス

保証書について

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げの店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。ただし、ブラウン管代およびブラウン管の交換にともなう技術料、出張料は2年間無料です。

アフターサービスについて

調子が悪いときはまずチェックを

➡「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかをお調べください。

それでも具合が悪いときはサービス窓口へ

➡ お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にある、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

➡ 保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

➡ 修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、カラーテレビの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後でも、故障個所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。
なお、補修用性能部品の保有期間は通商産業省の指導によるものです。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

型名：KV-25ST32
故障の状態：できるだけくわしく
購入年月日：

お買い上げ店 **TEL.**
お近くのサービスステーション **TEL.**

This television is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

その他

主な仕様

システム

受信方式　NTSC方式
受信チャンネル　VHF 1〜12チャンネル
UHF 13〜62チャンネル
CATV C13〜C35
BS1、3、5、7、9、11、13、15
ブラウン管*　トリニトロン110度偏向25型
＊テレビの型は画面寸法を表すものではなく、ブラウン管の外径対角寸法を基準とした大きさの目安です。
画面寸法　47.8×35.8、59.7cm
（幅×高さ、対角径）
使用スピーカー　円形8cm×2個

入出力端子

アンテナ端子　VHF/UHF 75Ω F型コネクター
BS IF 75Ω F型コネクター
（コンバーター用電源出力、DC15V最大4W）
音声出力　実用最大：3W＋3W (EIAJ)
ビデオ1、2入力端子
S映像：　4ピンミニDIN（ビデオ1、2入力のみ）
Y：1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負
C：0.286Vp-p（バースト信号）、75Ω
映像：ピンジャック、1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負
音声：ピンジャック、2チャンネル、500mVrms、インピーダンス47kΩ
BS出力端子　映像：ピンジャック、1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負
音声：ピンジャック、2チャンネル、標準出力レベル250mVrms（FS-18dB時)、出力インピーダンス 5kΩ以下
検波出力端子　ピンジャック、75Ω、0.67Vp-p
ビットストリーム出力端子
ピンジャック、75Ω、0.5Vp-p
デコーダー入力端子
映像：ピンジャック、1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負
音声：ピンジャック、2チャンネル、標準入力250mVrms、インピーダンス47kΩ
AFC入力端子　ピンジャック、75Ω

ヘッドホン端子　ステレオミニジャック
負荷インピーダンス16Ω以上

電源

消費電力　KV-25ST32　127W
（リモコン待機時1W）
年間消費電力量**
KV-25ST32　166kW•h/年
＊＊年間消費電力量とは：省エネルギー法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間（4.5時間）を基準に算出した、一年間に使用する電力量です。

最大外形寸法　61.9×50.9×47.1cm
（幅×高さ×奥行き）
質量　KV-25ST32　約32.3Kg
電源　AC100V、50/60Hz

付属品　リモートコマンダー（1）
RM-J215
単3形乾電池（2）
アンテナコネクター（1）
取扱説明書（1）
保証書（1）
ソニーご相談窓口のご案内（1）
安全のために（1）
安全点検のおすすめ（1）

別売りアクセサリー

テレビスタンド　SU-25V
ステレオヘッドホン
MDR-AV55
MDR-IF520RK
テレビラック固定ベルト
BLT-R10
BSアンテナなど
接続ケーブルなど

- このテレビは日本国内用ですから、電源電圧、放送規格の異なる外国ではお使いになれません。
- 仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

各部のなまえ／Identification of controls

本体前面/TV Front Panel

1 ヘッドホン端子
2 S映像（ビデオ2入力）端子
　S映像端子
　映像端子
　音声（左）端子
　音声（右）端子
3 リモコン受光部
4 入力切換ボタン☞3ページ
5 音量＋／－ボタン☞2ページ
6 チャンネル＋／－ボタン☞2ページ
7 BS電源ランプ☞11ページ
8 電源ランプ☞2ページ
9 スタンバイ／スリープランプ☞2ページ
10 電源スイッチ☞2ページ

1 Headphones jack
2 VIDEO IN 2 jacks
　S-Video jack
　Video in jack
　Audio-L jack
　Audio-R jack
3 Remote control sensor
4 Input Select button　page 3
5 Volume +/– buttons　page 2
6 Channel +/– buttons　page 2
7 BS (Broadcast Satellite) Power indicator page 11
8 Power indicator　page 2
9 Standby/Sleep indicator　page 2
10 Power switch　page 2

その他

リモコン／Remote Commander

1 画面表示ボタン☞3ページ
2 消音ボタン☞3ページ
3 入力切換ボタン☞3ページ
4 チャンネル数字ボタン☞2, 10, 18ページ
5 電源スイッチ☞2ページ
6 BSボタン☞5, 18, 19ページ
7 メニューボタン☞6ページ
選択＋／ーボタン☞6ページ
決定ボタン☞6ページ
8 チャンネル＋／ーボタン☞2ページ
9 音量＋／ーボタン☞2ページ

1 Display button page 3
2 Muting button page 3
3 Input Select button page 3
4 Channel Number buttons page 2, 10, 18
5 Power switch page 2
6 BS (Broadcast Satellite) button page 5, 18, 19
7 Menu button page 6
Select +/– buttons page 6
Enter button page 6
8 Channel +/– buttons page 2
9 Volume +/– buttons page 2

索引